

## ■CMSKIT Ver.2.3 動作環境

2025年5月2日

株式会社 ノア

本書は、CMSKIT Ver.2.3 をサーバーに導入して実行させるとき、お客様にご用意いただく動作環境を示しています。

- ・動作環境とは株式会社ノアが、CMSKIT Ver.2.3 の正常動作を確認した環境をいいます。
- ・本書で示した動作環境以外で CMSKIT Ver.2.3 をご利用いただく場合、サポートサービスの対象外となる場合があります。
- ・お客様の動作環境が整わない場合は、CMSKIT Ver.2.3 の機能の一部または全部が動作しない場合があります。
- ・今後リリースされる CMSKIT および拡張 KIT の動作環境は変更される場合があります。

### 1.動作確認サーバーOS および WEB サーバー

動作確認サーバーOS	
項目	動作要件
動作確認サーバーOS	Linux (Cent OS 6) ※Red Hat Linux 6 互換 Linux (Cent OS 7) ※Red Hat Linux 7 互換 Linux 8 系 Windows Server (※別途ご相談)
動作確認 WEB サーバー	
項目	動作要件
動作確認 WEB サーバー	Apache2.2 系、2.4 系

### 2.基本動作環境【サーバー環境】

基本動作環境【サーバー環境】	
必要環境	必須、推奨、制限
OS および Web サーバーが正常に動作すること	必須
CGI プログラムが実行可能であること	必須
Perl [ver.5.8.9~5.26.3] Perl 標準モジュール DBI モジュール 1.57 以降 DBD::SQLite モジュール 1.29 以降	Linux を選択した場合にすべて必須 ※Perl 5.8.9、5.12.4、5.16.3、5.26.3 で動作確認を行っています。 ※Perl 5.8 未満 には対応していません。 ※DBI モジュール 1.57 および DBD::SQLite モジュール 1.29 以前のバージョンには対応していません。
高性能 CPU	Intel Core i5 相当以上の CPU を推奨 32bit または 64bit アーキテクチャに対応 ※快適な操作性を得るために高性能 CPU を推奨します。
HDD 容量は約 1GB 以上	※「1GB 以上」にはコンテンツ領域は含まれません。またコンテンツの増大に比例してシステム領域も増大しますので十分に確保してください。
32bit OS の場合、利用可能なメモリ 2GB 必須、4GB 推奨 64bit OS の場合、利用可能なメモリ 4GB 必須、8GB 推奨	※必要となるメモリ容量は、同時ログインユーザ数、グループ数、承認管理構成、コンテンツ数によって変動します。メモリ容量は CMSKIT の反応速度に影響するため、32bit OS の場合は 4GB を推奨します。64bit OS の場合は 8GB を推奨します。
Web サーバーから SMTP サーバーへ接続できること、または sendmail コマンドが使用可能であること	承認管理 KIT、フォームメール KIT では必須。 リンクチェック KIT、データ最適化 KIT では推奨。

CMSKIT Ver.2.3 動作環境

	<p>※SMTP サーバーへ接続、sendmail コマンド使用のいずれも不可である場合は、各拡張 KIT に以下のような影響があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 承認管理 KIT: 承認依頼時や承認差戻し時にメール通知を行うことができません。</li> <li>● フォームメール KIT: 基本機能が動作しません。</li> <li>● リンクチェック KIT: リンクチェックの結果をメール通知できません。</li> <li>● データ最適化 KIT: データ容量の警告時やデータ最適化完了時のメール通知ができません。</li> </ul>
ImageMagick が導入されていること 動作確認バージョン ver.6.6.5~6.9.13	<p>※ImageMagick が利用できない場合には、以下の機能をご利用いただけません。</p> <p>(1)画像サイズの変更、トリミング、回転機能 (2)携帯用画像への最適化機能</p>
cron またはタスクスケジューラによる wget の起動ができること	<p>※cron またはタスクスケジューラが利用できない場合には自動実行が必要な以下の機能がご利用いただけません。</p> <p>(1)予約 KIT (2)RSS リーダーKIT (3)CSV リーダーKIT (4)カレンダーKIT (5)注目ワード KIT (6)リンクチェック KIT (7)サイトマップ KIT によるサイトマップの自動生成 (8)キーワード検索 KIT による検索データの自動生成 (9)レコメンド表示サービスを使用した場合のレコメンド自動削除 (10)データ最適化 KIT</p>
CMS サーバーと公開サーバーの2台構成で運用いただく場合は、サーバー間の FTP 転送が可能であること、またはコンテンツ同期を行う環境が用意されていること	<p>必須 ※CMSKIT 導入型と年間型には、コンテンツ同期機能は同梱されていませんのでご注意ください。CMSKIT クラウドの場合はコンテンツ同期サービス(同期 KIT)が用意されています。</p>
<p>・サーバーがインターネットに接続され、HTTP アクセスが可能であること</p> <p>・Google Analytics® ウェブ解析サービスが利用できるサービスアカウントおよび API が利用できること</p>	<p>※CMSKIT V2.3 のメイン画面にアクセス状況を表示する場合は必須</p>

### 3.拡張 KIT の動作環境【サーバー環境】

拡張 KIT をご利用いただく場合、CMSKIT Ver.2.3 の動作環境に加えて、拡張 KIT 毎に必要な動作要件がありますのでご確認ください。

拡張 KIT の動作環境【サーバー環境】	
拡張 KIT 名称	CMSKIT V2 動作環境に加えて必要となる要件
承認管理 KIT	「承認依頼」、「承認」、「差戻し」の際にメール通知を行う場合は、SMTP または、sendmail コマンドが使用可能であること
公開予約 KIT	cron またはタスクスケジューラが利用できること
モバイル KIT	ImageMagick が使用できること
サイトマップ KIT	サイトマップを定期的に自動更新する場合は、cron またはタスクスケジューラが利用できること
キーワード検索 KIT	・検索結果に出力するインデックスを自動更新する場合は cron またはタ

## CMSKIT Ver.2.3 動作環境

	<p>タスクスケジューラが利用できること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CMSKIT と公開サーバーを分離する場合は公開側にも同じ動作環境があること</li> </ul>
地図編集 KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CMSKIT を操作する PC がインターネットに接続されていること</li> <li>・Google Maps™ 地図サービスおよび API が利用できること</li> <li>・LWP モジュールが利用できること</li> </ul>
カレンダーKIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> <li>・Ver.1 用カレンダーKIT と Ver.2.3 用カレンダーKIT のデータ互換性はありません。</li> </ul>
フォームメール KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SMTP または、sendmail コマンドが使用可能であること</li> <li>・CMSKIT と公開サーバーを分離する場合は公開側にも同じ動作環境があること</li> <li>・Captcha 認証(セキュリティ画像)機能を使用する場合は、公開側でも ImageMagick が利用できること</li> <li>・UNIX(Linux)系サーバー環境下で Captcha 認証機能を使用する場合は日本語 TrueType Font がサーバーにインストールされていること</li> </ul>
RSS リーダーKIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RSS リーダーKIT の動作するサーバーがインターネットに接続され、HTTP アクセスが可能であること</li> <li>・LWP モジュールが利用できること</li> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> </ul>
CSV リーダーKIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取り対象となる CSV ファイルが CSV リーダーKIT と同一サーバー内にあること</li> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> </ul>
注目ワード KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LWP モジュールが利用できること</li> <li>・Crypt::SSLey モジュールが利用できること</li> <li>・注目ワード KIT の動作するサーバーがインターネットに接続され、HTTP アクセスが可能であること</li> <li>・キーワード検索 KIT または Google™検索がサイト内で使用できること</li> <li>・Google Analytics® ウェブ解析サービスが利用できるサービスアカウントおよび API が利用できること</li> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> </ul>
リンクチェック KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LWP モジュールが利用できること</li> <li>・Crypt::SSLey モジュールが利用できること</li> <li>・リンクチェック KIT の動作するサーバーがインターネットに接続され、HTTP アクセスが可能であること</li> <li>・SMTP または、sendmail コマンドが使用可能であること</li> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> </ul>
アクセス状況表示 KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LWP モジュールが利用できること</li> <li>・Crypt::SSLey モジュールが利用できること</li> <li>・アクセス状況表示 KIT の動作するサーバーがインターネットに接続され、HTTP アクセスが可能であること</li> </ul>

## CMSKIT Ver.2.3 動作環境

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Analytics® ウェブ解析サービスが利用できるサービスアカウントおよび API が利用できること</li> </ul>
データ最適化 KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SMTP または、sendmail コマンドが使用可能であること</li> <li>・cron またはタスクスケジューラが利用できること</li> </ul>
動画表示 KIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CMSKIT を操作する PC がインターネットに接続されていること</li> <li>・YouTube™ または Ustream™ が利用できること</li> </ul>
RSS KIT, 表作成 KIT, ヘッダ編集 KIT, アナウンス KIT, リファレンス表示 KIT, コンテンツ履歴 KIT, 編集支援 KIT, 署名 KIT	左記の拡張 KIT は、CMSKIT V2.3 動作環境と同じ。

## 4. CMSKIT Ver.2.3 の対象となるコンテンツ

対象コンテンツ	
項目	動作要件
編集対象コンテンツ	静的な HTML および XHTML ファイル（動的に生成されるファイルは対象外です。）
ファイル拡張子	.htm または.html
パーミッション属性	CMSKIT で編集対象とするファイル(およびそれぞれが含まれるディレクトリ)は、パーミッションの変更が必要です。
位置表示リスト(パンくずリスト)	自動生成される位置表示リスト(パンくずリスト)は、サイト構造(ディレクトリ構造)に準拠します。位置表示リストを正常に生成するためには、カテゴリのトップページとするファイル名は、index.html または index.htm とする必要があります。
文字コードセット	UTF-8 または Shift-JIS
HTML バージョン	CMSKIT で編集できる HTML バージョンは、HTML3.2、HTML4、XHTML、HTML5 対応となります。ただし、Strict は非対応です。
HTML、CSS、JavaScript コードの制限	<p>以下のような場合、公開画面では表示できても、CMSKIT の管理画面で正常表示ができないことがあります。その場合、代替コードで回避する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CMSKIT 管理画面の操作の div タグ、form タグなどにより CSS が適用されない場合</li> <li>・CMSKIT 管理画面のボタンを隠してしまう指定</li> <li>・階層的に記述された定義リスト要素(dl タグ、dt タグ、dd タグ)</li> <li>・一部ブラウザの特異なコード解釈に起因して管理画面のレイアウト崩れを発生させるコード</li> </ul>

## 5. 操作用パソコン環境

CMSKIT Ver.2.3 を操作する PC 環境においてお客様にご用意いただく環境となります。

操作用パソコン環境	
項目	動作要件
ネットワーク環境	CMSKIT がインストールされたサーバーに対して、HTTP または、HTTPS で接続可能であること(必須)
JavaScript	JavaScript が正常に動作すること(必須)
動作確認ブラウザ(Windows)	Microsoft Edge 最新版、Firefox 最新版、Chrome 最新版

## CMSKIT Ver.2.3 動作環境

動作確認ブラウザ (MacOS)	Safari 最新版、Firefox 最新版、Chrome 最新版 ※CMSKIT 本体および編集支援 KIT の制限語句で指定する Windows 用の機種依存文字の編集は行えません。
モニター解像度	1024×768 以上 (必須)

## 6.WYSIWYG 機能の制限

CMSKIT Ver2.3 の文字編集、WW エリア編集 KIT、WW ページ編集 KIT における WYSIWYG 編集機能に関する制限事項と注意事項を示します。

文字編集画面	
項目	制限事項／注意事項
インライン要素・ブロックレベル要素	編集できるのはインライン要素のみです。HTML のブロックレベル要素の編集は行えません。
画像	画像の挿入はインライン要素として挿入されます。左寄せ・中央寄せ・右寄せなどのブロックレベル要素としてのレイアウト指定はできません。 ※WW エリア編集 KIT および WW ページ編集 KIT をご利用いただく場合はレイアウト指定ができます。
WW エリア編集 KIT	
項目	制限事項／注意事項
定義リスト (dl タグ、dt タグ、dd タグ)	定義リスト (dl タグ、dt タグ、dd タグ) は使用できません。 dl タグ、dt タグ、dd タグを含むコンテンツを編集するとレイアウトが大きく崩れる場合があります。
CSS の適用	WW エリア編集 KIT の画面では、コンテンツに指定されたスタイルシートはそのままでは適用されない場合があります。WW エリア編集 KIT の設定ファイルで別途 CSS ファイルを指定する必要があります。
フォーム編集	フォームの編集は行えません。 ※CMSKIT 本体のフォーム編集機能では行えます。
WW ページ編集 KIT	
項目	制限事項／注意事項
定義リスト (dl タグ、dt タグ、dd タグ)	定義リスト (dl タグ、dt タグ、dd タグ) は使用できません。 dl タグ、dt タグ、dd タグを含むコンテンツページを編集するとレイアウトが大きく崩れる場合があります。
CSS の適用	WW ページ編集 KIT の画面では、HTML ファイルの head 領域に style 要素で記述されたスタイルシートの内容は適用されません。
フォーム編集	フォームの編集は行えません。 ※CMSKIT 本体のフォーム編集機能では行えます。
マスク (編集不可領域) について	ナビゲーション部分 (パーツ部分) やパンくずリストの部分など、編集不可領域 (マスク領域) にしたい箇所は div タグで囲まれている必要があります。
body タグ、html タグの background プロパティ	body タグや html タグの要素に、CSS ファイルで "background" プロパティを指定すると、WW ページ編集 KIT 操作ボタンのプルダウンの背景に

CMSKIT Ver.2.3 動作環境

	も"background"プロパティの内容が反映される場合があります。
ブロックインデックスの使用	ブロックインデックスのための専用タグは、WW ページ編集のブロック機能では利用できません。

※CMSKIT®は株式会社ノアの登録商標です。

※本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。